

今、何の病気が流行しているか！

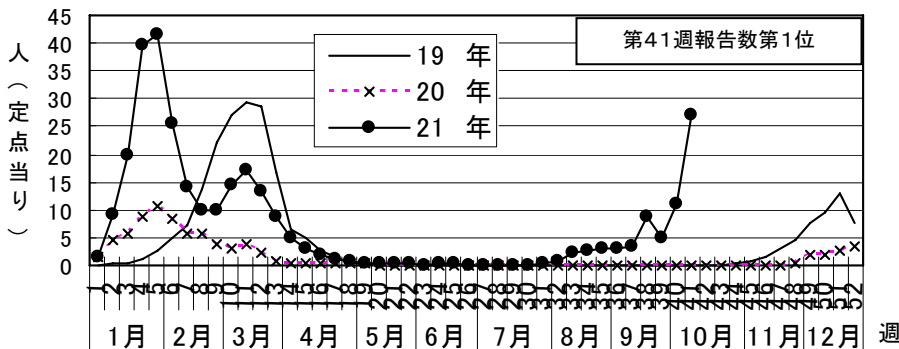
【感染症発生動向調査事業から】



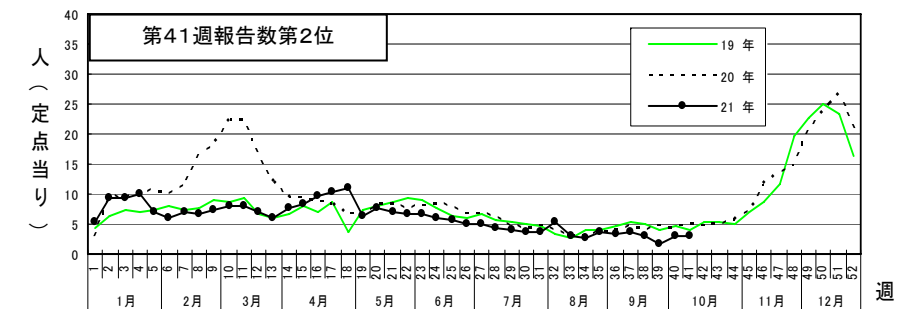
平成21年10月5日（月）～10月11日（日）〔平成21年第41週〕の感染症発生状況

第41週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 突発性発疹となっています。インフルエンザは、定点あたり27.04と前週の約2.4倍に増加しました。インフルエンザの流行発生警報基準値である定点あたり30に近づいていますので、今後の発生動向には注意が必要です。警報レベルは大きな流行が発生または継続しつづくと疑われることを指します。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



★ インフルエンザ自宅看病のポイント★

第41週も引き続きインフルエンザの報告数が増加しています。今回は、自宅でインフルエンザ症状がある患者を看病するポイントをお知らせします。

自宅看病のポイント

看病する人の格好
患者とともにマスクを着用
(できれば手袋も)
※マスクと手袋は使い捨てにしましょう



部屋の状態について
①湿度を 50～60%に保ちましょう
※ぬれたバスタオル等を部屋に干すと効果的です
②こまめに換気をしましょう(1時間に数回)
※風の入口と出口をつくり、風が通り抜けるようにすると効果的です

★患者への対応

- ①熱が高いときは、氷枕などを使って頭や脇の下などを冷やしましょう
- ②汗で水分が失われてしまうので、スポーツ飲料などで水分補給しましょう
- ※食事は消化がよく、栄養のあるものを選びましょう



その他の注意事項

- ①患者の使用した食器類や衣類は、通常の洗濯・洗浄及び乾燥で消毒できます。
- ②手洗い・うがいは患者も看病する方も頻繁に行いましょう。
- ③朝起きたら、家族全員の体温を測りましょう。感染すると、1～7日ほどの潜伏期間の後に症状が出るとされています。

